

意見書

教職員定数に関する意見書 (委員会提出議案第4号)

教育は「国家百年の計」であり、教育の充実は極めて重要な未来への先行投資です。将来を担う子ども達は国の宝です。

近年、いじめ、不登校等の生徒指導上の課題の複雑・多様化や、特別支援教育、学力向上、地域や保護者との連携などが、教育に対する関心、期待が高まっています。学校が教育に対する社会的期待に応え、学習指導・生徒指導等に関する様々な課題に対応するためには、行き届いた質の高い授業を行うための教職員体制の整備が必要です。

そのような中、公立学校の教職員定数について、財政制度等審議会において、児童生徒数の減少に合わせて加配定数も含め教職員定数を機械的に削減すべきとの考え方が示されています。このような児童生徒数の減少に対応した教職員定数の削減は、学校現場を取り巻く課題が複雑・困難化し、教職員が多忙化している実態に馴染まないものであり、子ども達への個々の指導が行き届かなくなり、社会の

期待に応えられなくなり、いじめ・不登校対応や障害の状態に応じた特別な指導を必要とする児童生徒の増加、貧困による教育格差の解消など、少子化が進む中でも、学校が対応しなければならぬ教育課題はむしろ増大しており、特に現場の課題に対応する加配教員を削減することは学校の教育力低下に直結します。児童生徒数の減少のみに着目し、学校現場を取り巻く課題が複雑・困難化している実態や、これからの日本社会の発展のために必要な教育のあり方を無視した議論については、到底認められるものではありません。

期待に込められなくなり、いじめ・不登校対応や障害の状態に応じた特別な指導を必要とする児童生徒の増加、貧困による教育格差の解消など、少子化が進む中でも、学校が対応しなければならぬ教育課題はむしろ増大しており、特に現場の課題に対応する加配教員を削減することは学校の教育力低下に直結します。児童生徒数の減少のみに着目し、学校現場を取り巻く課題が複雑・困難化している実態や、これからの日本社会の発展のために必要な教育のあり方を無視した議論については、到底認められるものではありません。

決議

二七電話詐欺撲滅に関する決議(決議案第2号)

犯罪のない安全で安心な社会の実現は、人々が願ってやまないものです。しかし、人の善意や優しさを騙して大金を騙し取

る卑劣な二七電話詐欺が後を絶ちません。

特に、高齢者が家族を思う気持ちや豊かな生活を望む心理に巧みに付込み、老後に備えて蓄えられてきた大切な財産を奪い取るなど、二七電話詐欺の犯人を決して許してはなりません。

小郡市議会としては、その被害を防止するためには、○家族の一層の意思疎通を図ること

○騙されないために様々な情報を共有すること

○声掛けなど、広報啓発を通して、福岡県が取り組んでいる二七電話気づかせ隊の活動に積極的に参加すること

などの取り組みを推進し、市全体で二七電話詐欺を防止する機運を高めていくことが大切であることを認識しました。

よって、小郡市議会は、市内で暮らす人々から一人の被害者も出さないとの強い決意で、市民、関係機関と連携し、二七電話詐欺撲滅活動の先頭に立ち、一致協力してその撲滅に取り組むことをここに宣言します。

編集後記

市役所本館耐震補強工事も完了し、1月4日より本庁舎での業務が再開されました。部署ごとに色分けされた窓口、赤ちゃんからお年寄りまで利用しやすい椅子、そして高さの低い窓口カウンターが導入され、より一層市民サービスの向上を目指されています。

議会におきましては、昨年の市民との意見交換会で頂戴した意見や要望について、その後、各常任委員会が担当部署と協議し、課題の共有を図り、この議会だよりを通じて市民の皆さんへの情報開示に努めています。さらに今後の議会活動や市政に生かして参ります。

今年も新たな気持ちと覚悟を持って、さまざまな課題に挑戦して参ります。

(後藤理恵)

議会広報特別委員会

- 委員長 入江 和隆
- 副委員長 田中 登志雄
- 委員 後藤 理恵
- 委員 古賀 敏彦
- 委員 田代 和誠
- 委員 百瀬 光子

3月定例会の会期日程(予定)	
2/25(木)	本会議(議案上程)
2/29(月)	本会議(質疑)
3/ 1(火)	予算審査特別委員会
3/ 2(水)	予算審査特別委員会
3/ 3(木)	予算審査特別委員会
3/ 4(金)	予算審査特別委員会(予備日)
3/ 8(火)	総務文教常任委員会
3/ 9(水)	保健福祉常任委員会
3/10(木)	都市経済常任委員会
3/16(水)	本会議(一般質問)
3/17(木)	本会議(一般質問)
3/22(火)	本会議(一般質問(予備日))
3/24(木)	本会議(委員長報告と質疑・討論・採決)